

1液カチオン型水性アクリルシリコン樹脂系着色シーラー

エコカチオンシーラーV 白

系 統 カチオン型水性アクリルシリコン樹脂系着色シーラー

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) TVOC(揮発性有機化合物)を1%未満に抑えた水性タイプですので扱いやすくなっています。
- 2) 旧塗膜や素地によく浸透し、付着性に優れています。
- 3) 水性のため、溶剤系シーラーでは旧塗膜のちぢみが発生しやすい条件でも安心して塗装できます。
- 4) 上塗り塗装も水性塗料から弱溶剤塗料まで幅広く適用できます。

塗装条件

塗装方法	は け	ローラー	エアレス スプレー		
希 釈 率	0%	0%	0%		
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.09～ 0.13	0.09～ 0.13	0.09～ 0.13		
希 釈 剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

温 度		23℃	
項 目	最 短	3時間	
	最 長	7 日	
使 用 時 限		—	

塗料性状

	項 目	内 容
1	荷 姿	15kg
2	混 合 比	—
3	色	白
4	つ や	つや消し
5	仕 上 が り 感	平 滑
6	塗 料 比 重	1.14
7	溶 剤 比 重	1.00(上 水)
8	加 熱 残 分	30%
9	劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10	労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11	有機則/特化則	—
12	消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	非危険物
13	硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

主な適用素材

コンクリート、モルタル、ALC板

主な適用下塗塗料

主な適用中塗塗料

アレスゴムタイルニューラフ、アレスタイルラフ、アレスホルダーHG等

主な適用上塗塗料

シリコンテックス、アレスアクアビルド、アレスアクアグロス、アレスアクアレタン、
ビニデラックス各種、コスモレタン、コスモシリコン、アレスアクアセラフツソ、
アレス水性弾性シリーズ 等

使用上の注意事項

- 1) 塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 2) 塗装作業、乾燥中は換気を行い、塗膜が完全に乾くまで時々換気してください。
- 3) 塗装面の、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや剥離塗膜は取り除いてください。
- 4) 塗装中、塗装後24時間は5℃以下湿度85%以上の場合は塗装を避けてください。
- 5) 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 6) 降雨、降雪、強風など天候不良が予測される時は外部の塗装を避けてください。
- 7) ヤニなどで汚れがひどい場合には、中性洗剤を用いてできるだけ汚れを除去し、
十分乾燥させてから塗装してください。
- 8) コンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下に
なるまで十分に乾燥させてください。
- 9) 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。
- 10) シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- 11) 塗装仕様の塗り重ね時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみなど塗膜不良を
起こすおそれがあります。
- 12) 乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合
は再度下塗り塗装を実施してください。
- 13) 上塗り塗料と混合するとゲル化して使用できなくなります。また塗装用具を共用
することも避けてください。
- 14) さげ缶などは錆予防のためプラスチック容器を使用してください。
- 15) ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- 16) 標準塗付量は素地の状態、塗装方法などによって異なる場合があります。
取扱いは製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)
をよく読み、注意事項を厳守してください。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめ
ご了承ください。